

2016年度（平成28年度）

学校関係者評価 報告書

学校法人 東杜学園

国際マルチビジネス専門学校

2016年度（平成28年度） 学校関係者評価報告書

学校法人東杜学園 国際マルチビジネス専門学校では、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について現状を点検し、その改善を図るため自己点検・自己評価を実施し「平成28年度自己点検評価報告書」を取りまとめ、当校ホームページに公開致しました。

また、学校関係者評価委員会を設置し、本校に関連する業界・企業の皆様より当校の学校教育及び運営に対しご意見やご指導を頂きました。頂戴致しましたご意見等につきましては「平成28年度学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を今後の学校運営に反映させ、教職員一同社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質のさらなる向上を目指して参る所存です。

関係者の皆様には、今後共なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年10月
学校法人 東杜学園
国際マルチビジネス専門学校
校長 野口 和江

学校関係者評価委員会 開催記録

【開催日時】 第1回：平成29年9月5日（火）15：00～16：00

国際マルチビジネス専門学校2階 ホテル実習室

第2回：平成29年10月3日（火）14：35～15：40

国際マルチビジネス専門学校2階 ホテル実習室

【第1回出席者】

学校関係者評価委員（敬省略）

高木 友子 氏 公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 事務局長

大久保毅彦 氏 株式会社 JTB 東北 執行役員 総務部長

齋藤 康紀 氏 仙台ターミナルビル 株式会社 ホテルメトロポリタン仙台 料飲宴会部課長

小笠原 均 氏 有限会社 花嫁の千登勢 取締役副社長

本村 陽 氏 株式会社 日比谷花壇 北日本バンケット事業部 グループリーダー

事務局

野口 友子	学校法人 東杜学園	理事長		
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校	校長		
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校	教務部	教務部長	
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校	教務部	教務課	課長(書記)
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校	教務部	就職課	課長代理
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校	広報部	広報部長	
島村 香奈子	国際マルチビジネス専門学校	広報部	広報課	課長(書記)

【第1回議事】

1. 企業委員紹介と委員長承認

改めて各委員及び事務局7名の紹介を行った。委員長は野口校長が行った。

2. 職業実践専門課程認定について

先に行った教育課程編成委員会にて説明を行っているので割愛した。

3. 2016年度(平成28年度)自己評価の概要説明

平成29年9月5日付の自己点検報告書を配布し、説明した。

- ・「学校評価ガイドライン」を基本に、自己点検(指標4~1)を実施。各項目に課題、改善方法等を記載。
- ・昨年度より(11)国際交流の項目も評価対象となった。
- ・「専門性」「社会性」「専門性」に続く「国際性」が重要な柱。
- ・実務研修、指導力強化における教員研修の機会をできるだけ設けるよう意識。
- ・日本語ビジネス学科新設による留学生受入に係る学習指導、生活指導及び就職指導についての体制整備準備。
- ・総合英語学科新設による海外での学修環境準備。
- ・自己評価の低い項目が明らかとなり(社会貢献・地域貢献)、各々改善に取り組む。
- ・重点目標並びに今後の課題ー①人間教育(人間力・コミュニケーション力・躰マナー等)へのさらなる充実。②外国人留学生の学修及び生活指導のシステム構築。③学生の気づき、モチベーションの維持、向上。

第2回委員会においても引き続き自己点検・学校評価に関する議論を行うことになった。

第2回開催予定日、平成29年10月上旬の開催を予定する。

以上

【第2回出席者】

学校関係者評価委員（敬省略）

高木 友子 氏 公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 事務局長

大久保毅彦 氏 株式会社 JTB 東北 執行役員 総務部長

齋藤 康紀 氏 仙台ターミナルビル 株式会社 ホテルメトロポリタン仙台 料飲宴会部課長

小笠原 均 氏 有限会社 花嫁の千登勢 取締役副社長

事務局

野口 友子 学校法人 東杜学園 理事長

野口 和江 国際マルチビジネス専門学校 校長

熊谷 文志 国際マルチビジネス専門学校 教務部 教務部長

伊五澤 和男 国際マルチビジネス専門学校 教務部 就職課 課長代理

吾妻 祐子 国際マルチビジネス専門学校 教務部 教務課 主任(書記)

三橋 英一 国際マルチビジネス専門学校 広報部 広報部長

島村 香奈子 国際マルチビジネス専門学校 広報部 広報課 課長(書記)

※本村陽委員（株式会社日比谷花壇）は欠席の為、意見をお伺いし、議題に反映させた。

【第2回議事】

1. 委員・出席者確認

改めて各委員及び事務局7名の紹介を行った。委員長は野口校長が行った。

2. 自己評価報告書の説明

各項目に沿ってご意見並びに質問を頂戴する。

(1) 教育理念・目標

本校の教育理念「専門性」「社会性」「人間性」に加えて「国際性」の重要性を確認した。

(2) 学校運営

(3) 教育活動

社会生活におけるマナーや基礎知識について学びすぎるということはないとのご意見を頂戴した。

(4) 学修成果

特に委員会からの意見はなかった。

(5) 学生支援

卒業生の支援体制についてご質問を頂き、既卒者向求人紹介、相談と回答した。

(6) 教育環境

防災に対する準備、備えについてのご質問があり、水、食料、毛布の備蓄がある旨を回答した。

(7) 学生受け入れ募集

募集の状況、学納金についてご質問を頂き回答した。

(8) 財務

(9) 法令等の遵守

特に委員会からの意見はなかった。

(10) 社会貢献・地域貢献

地域に対する公開講座や教育訓練受託について、積極的な受け入れに至っていないことについて、今後より努力していかねばならぬ分野であると回答した。

(11) 国際交流

「総合英語学科」「日本語ビジネス学科」新設に向けて、教育理念である「国際性」をより生かしていく旨説明があった。

平成29年度も引き続き自己点検/学校評価を実施するが、課題解決を図り、学校全体で努力していく旨校長より話があり、閉会の辞とした。

以 上

平成28年度 財務諸表

資金収支計算書

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	151,880	人件費支出	77,035
手数料収入	772	教育研究経費支出	57,372
寄付金収入	0	管理経費支出	40,812
補助金	0	施設関係支出	28,080
附属収入・収益事業収入	26,371	設備関係支出	648
受取利息	77	その他の支出	19,115
雑収入	915		
前受金収入	116,371		
その他の収入	11,336		
資金収入調整勘定	△ 111,478	資金支出調整勘定	△ 7,442
前年度繰越支払資金	250,405	次年度繰越支払資金	231,029
収入の部 合計	446,649	支出の部 合計	446,649

事業活動収支計算書

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

(単位：千円)

教育活動収支			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
学生生徒等納付金	151,880	人件費支出	77,035
手数料	772	教育研究経費支出	67,412
寄付金	0	管理経費支出	42,153
補助金	0		
付随事業収入	25,551		
雑収入	915		
教育活動収入計	179,118	教育活動支出計	186,600
教育活動収支差額			△ 7,481
教育活動外収支			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
受取利息・配当金	77		
その他の教育活動外収入	820		
教育活動外収入計	897	教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額			897
経常収支差額			△ 6,584
特別収支			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
		資産処分差額	2,905
特別収入計	0	特別支出計	2,905
特別収支差額			△ 2,905
基本金組入前当年度収支差額			△ 9,489
基本金組入額合計			△ 21,160
当年度収支差額			△ 30,649
前年度繰越収支差額			141,564
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			110,914

貸借対照表

平成29年3月31日まで

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
固定資産	544,004	固定負債	0
		流動負債	117,933
		負債の部 合計	117,933
流動資産	238,799	純資産の部	
		第1号基本金	553,956
		繰越収支差額	110,914
		純資産の部 合計	664,870
資産の合計	782,803	負債及び純資産の部合計	782,803